

科目名	キャリア開発の実践 A					単位	2.0
担当教員	樋口 貴子						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	3410

●授業のテーマ

職業生活に必要な基礎的能力を育成し、将来の生き方や進路を考える。

●到達目標

1. 他者と協働して、社会へ参画する力や態度を身に付ける。
2. 社会との相互関係を保ち、自分なりに「働くこと」の意義を見出す。
3. 自分が「できること・意義を感じること・したいこと」を熟考する。
4. 卒業後の自らのキャリアに向けて、目標を立てて具体的に行動する。

●学習内容(授業概要)

キャリアデザイン支援プログラムの集大成として開講する。

- ※第一弾：キャリア開発の基礎
- ※第二弾：キャリア開発の展開
- ※第三弾：本授業

将来の自分の活躍する姿を見据えながら、自分にとっての働く意味と、自分を取り巻く社会にとっての働く意義を考えながら、社会人・職業人（プロフェッショナル）としての意識を醸成する。

また、社会人として仕事を円滑に進めるために、身に付けておかなければならない常識やマナーがある。相手に好印象を与えるだけでなく、ビジネスパーソンとして相手から信頼と評価を得るために、適切なマナーや基礎的能力が求められる。

本授業では、ビジネスシーンにおけるケーススタディを含めた様々な演習を通じて、プロフェッショナル意識の準備とビジネスマナーならびに社会人としての基礎的能力の習得を目指す。

●学習内容(授業計画)

1. 「プロフェッショナル人材」とは
2. 「学生時代に力を入れて取り組んだこと」が問われる時代
3. マナーの心を伝える表現法 【演習】挨拶、身だしなみ、勤怠マナー
4. 敬語と言葉遣い 【演習】ビジネスシーンでの敬語の使い方
5. 社会人の話し方 【演習】採用面接での自己PR
6. 電話対応・Eメール 【演習】電話対応のマナー
7. 訪問マナー・来客対応 【演習】訪問のマナー
8. 職業観・勤労観 【演習】学生と社会人の違い
9. 職業人意識 【演習】立場やTPOをふまえた言動
10. 組織で求められる基本姿勢 【演習】指示の受け方・仕事の進め方
11. キャリア展望を考える 【演習】3年後・10年後の自分を描く
12. 適職探索と職業研究 【演習】職業興味と適性の発見
13. 仕事に対する価値観 【演習】バリューカード分析
14. 強みと課題の発見 【演習】ビジネス基礎能力診断
15. 将来の目標設定 【演習】卒業後のキャリア・なりたい自分

●準備学習・事後学習の内容

1. 自分を多面的に捉えて、自分の言葉で自己表現ができるようにする。
2. 自分と社会との接点を見つけ、世の中のことを知る機会を増やす。
3. 将来のキャリア展望は、常に「自分」と「社会」の二軸で考える。
4. 受講後はキャリアセンターに赴くなど、今後の就職活動に生かす。

●成績評価方法・基準

1. 課題・演習：70%
2. 授業の参加姿勢：30%

●テキスト（必携）

書名：就職スキル・ビジネスマナー&マインド準備

著者：樋口貴子

出版：有限会社キャリアサポーター

金額：1,000円

※最初の授業内で販売します。

●参考文献／その他

必要に応じて、講義内で紹介する。

●履修上の注意

演習中心の授業であるため、全講義出席と積極的な参加が必要となる。

毎回、テキストにあるワークシートを使って演習を行うため、テキストは必ず持参すること。

演習は、個人ワークだけでなく、グループワークも行うため、他者に迷惑をかける行為や発言は厳禁。